



不安感漂う世紀末の東京と九州を舞台にした松田正隆戯曲
 息苦しさを抱えて生きる若者を第18期生が描きます

■写真・資料のご請求、ご取材のお問い合わせ
 新国立劇場 演劇研究所 演劇研修係 井上・西島・上田
 Tel: 03-5352-5770 / Fax: 03-5352-5776 / Email: dramastudio@nntt.jac.go.jp

■新国立劇場 演劇研究所ウェブサイト
<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/>



新国立劇場



【作品概要】『美しい日々』

新国立劇場演劇研修所は、2025年2月11日（火・祝）から16日（日）まで新国立劇場小劇場において、第18期生修了公演『美しい日々』（作：松田正隆、演出：宮田慶子）を上演します。

1997年に執筆された、松田正隆初期の作品『美しい日々』。不安感が色濃く漂う世紀末の東京と九州を舞台に展開する、自分自身の内面の葛藤と巨大な社会の両方に息苦しさを抱えて生きる若者の姿が描かれた戯曲です。

登場するのは私立高校の国語教師、その教え子、婚約者、同僚、アパートの隣に住む兄妹。それぞれの本音と建前、理想と現実が絡み合い、うねるように主人公の置かれた境遇が変化していきます。

演劇研修所では、本作は第4期生（2011年）、第11期生（2018年）に続く三度目の上演。演出の宮田慶子演劇研修所長をはじめ、前回から続いて担当するスタッフ陣が作品の深化を支えます。

2022年入所の第18期生は、8月にR,ブリッグズ作の絵本をもとにした新作朗読劇『風が吹くとき』（演出：田中麻衣子）、12月には演出に岡本健一氏を迎えた『ロミオとジュリエット』を上演し、大きな注目を集めました。基礎の習得から、第一線の演出家との作品作りまで、徹底してプロの舞台俳優に必要な力を養った3年間の研修生活を経て、いよいよ修了公演に臨みます。第18期生の集大成となる公演に、どうぞご期待ください。



第18期生公演 朗読劇『風が吹くとき』
（作＝レイモンド・ブリッグズ、翻訳＝さくまゆみこ、演出＝田中麻衣子）
撮影：宮川舞子



第18期生公演『ロミオとジュリエット』
（作＝ウィリアム・シェイクスピア、翻訳＝河合祥一郎、上演台本・音楽・演出＝岡本健一）
撮影：細野晋司

【スタッフ】

作：松田正隆

MATSUDA Masataka



劇作家、演出家、マレビトの会代表。1962年長崎県生まれ。96年『海と日傘』で岸田國士戯曲賞、97年『月の岬』で読売演劇大賞作品賞、99年『夏の砂の上』で読売文学賞を受賞。2003年「マレビトの会」を結成。2012年より立教大学現代心理学部映像身体学科教授。主な作品に2023年ロームシアター京都 海辺の町二部作『シーサイドタウン』『文化センターの危機』2024年座・高円寺CTA ラボ『東京トワイライト -強盗団と新しい家-』など。

演出：宮田慶子

MIYATA Keiko



演出家 劇団青年座所属。翻訳劇、創作劇、ミュージカル、オペラと多方面にわたる作品を手がけ、演劇教育や日本各地での演劇振興・交流にも積極的に取り組む。（公社）日本劇団協議会常務理事。2010年～18年新国立劇場演劇芸術監督をつとめ、『ヘッダ・ガーブレル』『わが町』『おどくみ』『朱雀家の滅亡』『負傷者16人-SIXTEEN WOUNDED-』『るつぽ』『長い墓標の列』『つく、きえる』『永遠の一瞬-Time Stands Still-』『三文オペラ』『海の夫人』『パッション』『月・こうこう、風・そうそう』『君が人生の時』『プライムたちの夜』『消えていくなら朝』、また、オペラ『沈黙』（12・15年）を演出。16年4月より新国立劇場演劇研修所長。所長としての演出作品に『MOTHER-君わらひたまふことなかれ』『美しい日々』『るつぽ』『社会の柱』『マニラ瑞穂記』『理想の夫』『ブルーストッキングの女たち』『流れゆく時の中に-テネシー・ウィリアムズ-幕劇-』。

【ものがたり】

東京の中央線の、とある駅の近くにある安アパート。そこに住む、私立高校で教師をしている永山健一の部屋には、教え子や若い女性や同僚が出入りしている。隣の部屋には兄と妹が暮らす。やがて、二つの部屋では何かが崩れていき.....。

九州の、海のある小さな町。お盆を迎えた安木家に身を寄せた永山。土地の人々との交わりの中で、永山の心は.....。

【キャスト】

新国立劇場演劇研修所 第18期生

				
飯田 梨夏子 いいだ りかこ	石井 瞭一 いしい りょういち	石川 愛友 いしかわ あゆ	齋藤 大雅 さいとう たいが	高岡 志帆 たかおか しほ
				
篁 勇哉 たかむら ゆうや	中村 音心 なかむら そうる	山本 毬愛 やまもと まりあ	横田 昂己 よこた こうき	萬家 江美 よろずや えみ

新国立劇場演劇研修所 修了者


椎名 一浩 しいな かずひろ (第11期修了)

【公演概要】

新国立劇場演劇研修所第18期生修了公演 『美しい日々』

作 : 松田正隆
演出 : 宮田慶子

美術 : 池田ともゆき
照明 : 中川隆一
音響 : 信澤祐介
衣裳 : 半田悦子
方言指導 : 柄澤りつ子
演出助手 : 椎名一浩 (第11期修了)
舞台監督 : 野口岳大

出演 : 新国立劇場演劇研修所 第18期生
飯田梨夏子 石井瞭一 石川愛友 齋藤大雅 高岡志帆
篁 勇哉 中村音心 山本毬愛 横田昂己 萬家江美
椎名一浩 (第11期修了)

演劇研修所長 : 宮田慶子
主催・制作 : 新国立劇場

会場 : 新国立劇場 小劇場

公演日程 : 2025年2月11日(火・祝)~16日(日)

2月	11日 (火・祝)	12日 (水)	13日 (木)	14日 (金)	15日 (土)	16日 (日)
			14:00		14:00	14:00
	15:00					
		18:30		18:30		

チケット料金 (10%税込)

A席	B席	U25席	Z席(当日券)
3,850円	3,300円	1,650円	1,650円

チケット好評発売中

- *クラブ・ジ・アトレ会員ほか、各種割引はありません。
- *U25席は、ご観劇当日に25歳以下の方が対象です。Webボックスオフィスのみでのお取り扱いです(電話予約不可)。入場時、チケットと共にご年齢を確認できる証明書(コピー不可)をご提示ください。
- *就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。
- *2月11日(火・祝)公演は、託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。(定員制/要予約/有料)

【チケットのご予約・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス TEL : 03-5352-9999 (10:00~18:00)
新国立劇場 Web ボックスオフィス <https://mntt.pia.jp/>

【新国立劇場 演劇研修所について】

新国立劇場演劇研修所は、明晰な日本語を使いこなし、柔軟で強い身体を備えた次世代の演劇を担う舞台俳優の育成を目指しています。研修期間は3年間で、原則として週5日間、午前10時～午後6時のレッスンを、年間を通して行っています。

1・2年次は基礎的俳優訓練とともに、第一線の演出家や俳優指導の専門家を軸とする講師陣による基礎的な訓練およびシーンスタディを行い、3年次には修了に向けて数本の舞台実習公演を行います。

修了者は、新国立劇場公演のみならず、さまざまなプロデュース公演に出演、映像作品への出演、声の仕事など、活躍の場を広げています。

●新国立劇場演劇研修所ウェブサイト：<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/>

●動画「10分でわかる！新国立劇場演劇研修所」
：<https://www.youtube.com/watch?v=vukQT4ZRJac>



アクション



海外招聘講師 特別授業



シーンスタディ

第21期生選考試験のご案内

2025年4月入所の第21期生を以下の要領にて募集いたします。

研修期間：3年間（第21期生は2025年4月から2028年3月まで）

募集人数：16名程度

出願資格：①プロフェッショナルな俳優としての舞台活動を目指していること。

②高等学校卒業もしくは同等の資格を有すること。

③2025年4月1日時点で満18才以上、満30才以下であること。

④心身ともに健康であること。

⑤外国籍者の場合、日本語が理解できること。

および、研修期間中の日本国内滞在許可が取得できること。

選考試験日程：

・第1次試験：2025年1月15日（水）、16日（木）のいずれか1日

・第2次試験：2025年1月18日（土）

・第3次試験：2025年1月19日（日）

場 所：芸能花伝舎内新国立劇場演劇研修所（西新宿）

受験料：11,000円（税込） ※振込手数料はご負担ください。

詳細は、新国立劇場演劇研修所ウェブサイトからご覧ください。

<https://www.nntt.jac.go.jp/dramastudio/audition/>